

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10010230

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 【平成30年度】 道路整備 L=80m、W=7.0m、片歩道W=1.5m
基本施策	16	交通体系の整備	事業優先度	B		
単位施策	1	道路環境の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	魚田19号線道路整備事業		見直し年度			
事業期間	平成29年度		担当課	10 建設水道課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	整備延長		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
事業目標	140m		関係例規・法令名			
住民参加	無		関係個別計画名			
住民協働						

		全体計画 事業内容	平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計画 内 容	事業費(千円)	36,500	0	0	0	0	36,500
	財源内訳	国庫支出金 0 道支出金 0 地方債 36,500 その他 0 一般財源 0				0	36,500
実績 事業費	事業費(千円)	35,111	0	0	0	0	35,111
	財源内訳	国庫支出金 0 道支出金 0 地方債 35,100 その他 0 一般財源 11					35,100
関連 事項	特定財源の名称 ・地方債(過疎)100%	【評価・実績】	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) 道路整備 L=180m,W=4.0m 歩道(片側)W=1.5m 実測調査設計 L=220m ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値					180m
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	96%
		全体達成率	0%	0%	0%	0%	96%
	備考欄						

事業名	魚田19号線道路整備事業	評価者	管理職	職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者	作成者	職氏名	土木管理係	大庭 悟

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路利用者、道路	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	整備延長								
【抱える課題やニーズは】	魚田地区における道路環境の整備	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	地域住民が利用する道路の利便性の向上	① 整備延長/整備延長	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>180 m</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>180 m</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0 %</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	180 m	実績値	180 m	達成度	100.0 %
目標年度	平成29年度										
目標値	180 m										
実績値	180 m										
達成度	100.0 %										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	道路利用者の快適で安全な通行の確保	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0! %</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	〇〇	実績値	〇〇	達成度	#DIV/0! %
目標年度	平成29年度										
目標値	〇〇										
実績値	〇〇										
達成度	#DIV/0! %										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間業者による実測調査設計及び工事の実施	入札により民間業者に発注し、実測調査設計並びに工事を実施した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	道路利用者の快適で安全な通行を確保することは、町が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、地域の交通の利便性の向上が図られたことは、有効であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	当該事業を実施したことにより、地域の交通の利便性が図られたことは、効率的であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	交通の利便性の確保が図られたことは、不特定多数の道路利用者に対して公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
地域住民の交通の利便性を確保するためには、計画どおり事業を進めることが適当であると判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
安全な通行の確保を図ることは必要不可欠であることから、継続、現状維持が適当であると判断する。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止